



西柘植地域防災計画



2025（令和7）年12月1日

西柘植地域まちづくり協議会

目標

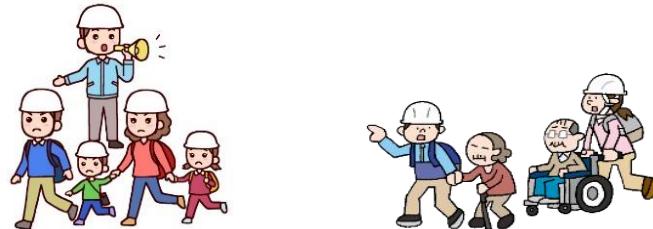
災害に強い地域づくり

～人のつながり・共助のできる
地域づくりを目指します～





愛田区防災計画



2025（令和7）年12月1日
愛田区

目標

人の命を守る



想定される災害

- 台風や大雨による土砂災害、河川の氾濫による浸水被害
- 強風等による倒木
- 地震（南海トラフ地震：震度6弱・頓宮断層地震：震度6強）

地域の課題

- 区および住民個人の災害に対する備えが不十分である。
- 避難場所の確保。
- 災害時における要配慮者への対策（交通手段など）が不十分である。

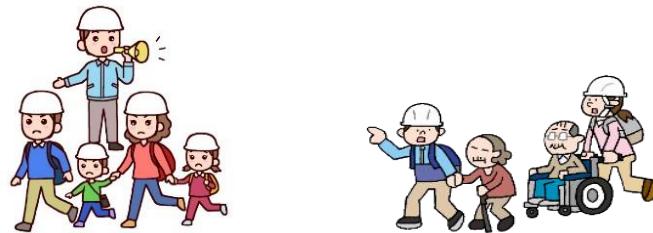
今後の取組み

- 人と人とのつながりを強くし、助け合いができる地域をめざします。
- 地区で備蓄品を確保します。
- 家庭での備蓄や災害への対策を進め、防災意識の向上をめざします。
- 毎年訓練等を実施し、地域住民みんなが防災について考える機会をつくり、地域の課題解決に取り組みます。





南出区防災計画



2025（令和7）年12月1日
南出区

目標

区民の確認体制の強化



想定される災害

- 台風や大雨による洪水・土砂災害・ため池の決壊
- 地震（南海トラフ地震：震度6弱・頓宮断層地震：震度6強）
- 高温障害や乾燥による山火事など

地域の課題

- 防災意識が低い。
- 避難所の開設や運営ができるか。
- 災害時における要配慮者への対策が不十分である。
- 避難所がハザード内にある。
- 災害時の他区との連携。

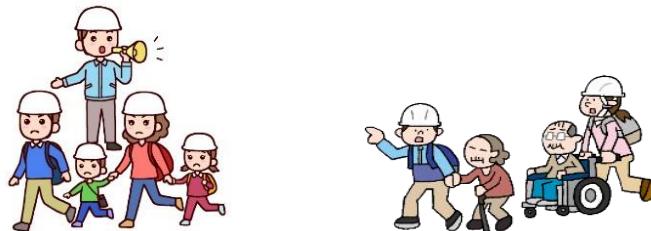
今後の取組み

- 毎年防災訓練を実施し防災意識の向上を目指します。
- 防災マニュアル（安否確認・救助・情報伝達）の作成。
- 災害時要配慮者の把握及び避難方法の検討と訓練の実施。
- 区や家庭での備蓄や災害への備えを進めます。
- 地区内の危険個所についてハザードマップ等で確認・共有し、意識の向上を目指します。





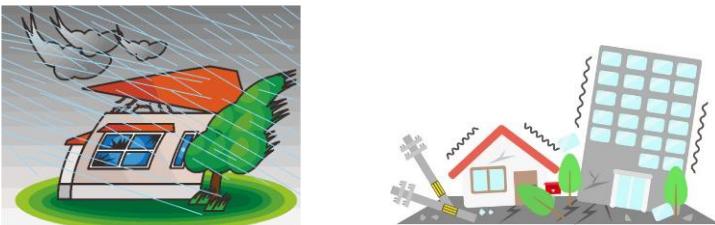
中出区防災計画



2025（令和7）年12月1日
中出区

目標

共助のできる区民が安心して暮らせる
地域づくりを目指します。



想定される災害

- 台風や大雨による洪水・土砂災害・ため池の決壊
- 地震（南海トラフ地震：震度6弱・頓宮断層地震：震度6強）
- 高温障害や乾燥による山火事
- 竜巻

地域の課題

- 災害時の行動計画が共有されていない（役割分担・指示系統）
- 防災意識が低い。
- 避難所の開設や運営ができるか。
- 災害時における要配慮者への対策が不十分である。
- 避難所がハザード内にある。
- 災害時の他区との連携。

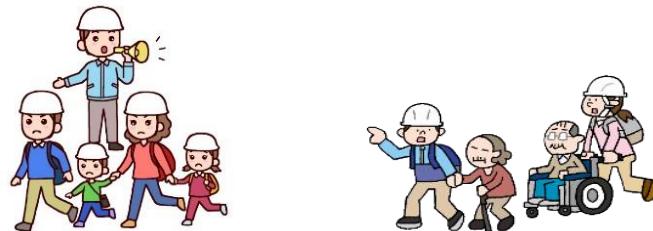
今後の取組み

- 毎年防災訓練を実施し防災意識の向上を目指します。
- 防災マニュアル（安否確認・救助・情報伝達）及び避難所運営のためのルールを作ります。
- 災害時要配慮者の把握及び避難方法の検討と訓練の実施。
- 区や家庭での備蓄や災害への備えを進めます。
- 地区内の危険個所についてハザードマップ等で確認・共有し、意識の向上を目指します。





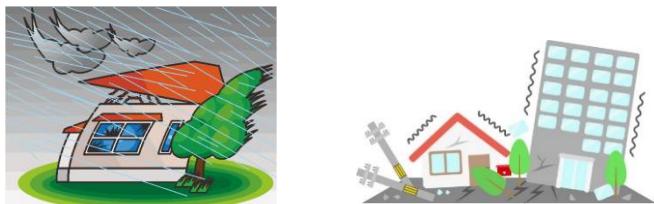
上市場区防災計画



2025（令和7）年12月1日
上市場区

目標

防災に対する意識の向上



想定される災害

- 台風や大雨による洪水・土砂災害
- 地震（南海トラフ地震：震度6弱・頓宮断層地震：震度6強）
- 地震や大雨などによる、停電や断水等のライフライン途絶
- 地震や大雨などによる、道路の陥没や橋梁被害等の交通障害
- 地震による火災

地域の課題

- 災害時における要配慮者への対策が不十分である。
- 安否確認ができるか。
- 避難場所（一時立ち寄り所）の老朽化。
- 避難場所や避難行動（方法、場所、ルート）が確立・共有されていない。
- 地域や家庭の災害に対する備えが不十分である。
- 地域が川で分断される。（避難場所に行けない。）

今後の取組み

- 毎年訓練等を実施し、防災意識の向上をめざします。
- 住民台帳の見直しを行い、安否確認ができるように取り組みます。
- 地区で備蓄品を確保していきます。（組単位に分散備蓄）
- 各家庭で備蓄や災害のルール（家族の連絡方法・集合場所など）を考え、防災意識の向上を目指します。
- 災害時要配慮者を支援する取り組みを進めます。





物販区防災計画



2025（令和7）年12月1日
物販区

目標

災害に強い地域づくり



想定される災害

- 台風や大雨による洪水・ため池の決壊
- 地震（南海トラフ地震：震度6弱・頓宮断層地震：震度6強）
- 地震や大雨などによる、橋の崩落や道路の陥没等の交通障害

地域の課題

- 本格的な避難訓練をしたことがない。
- 災害時における要配慮者への対策が不十分である。
- 住民個人の災害に対する備えが不十分である。
- 橋が流されると地区が南北に分断される。
- 川が近いため護岸の崩落などが不安。
- 一時避難場所の耐震が不安

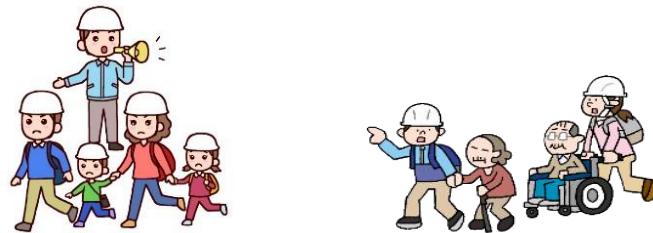
今後の取組み

- 毎年訓練等を実施し、防災意識の向上をめざします。
- 地域のコミュニケーションの強化を図り、助け合いができる地域をめざします。
- 災害時要配慮者を支援する体制をつくります。
- 地区や家庭での備蓄等の災害への備えを進め、自助・共助に対する意識の向上をめざします。
- 防災リーダーの養成（個人のスキルアップ）への取り組みを進めます。





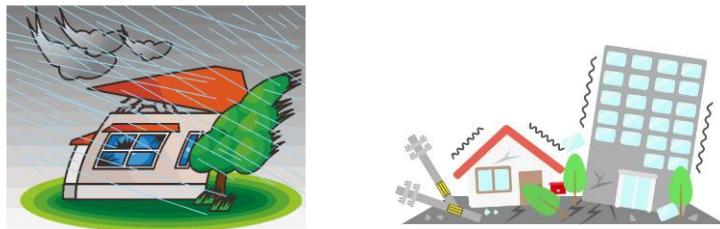
樋岡区防災計画



2025（令和7）年12月1日
樋岡区

目標

みんなで生きのびよう！



想定される災害

- ・地震（南海トラフ地震：震度6弱・頓宮断層地震：震度6強）
- ・台風や大雨による浸水被害
- ・地震や大雨などによる、停電・断水等のライフライン途絶
- ・地震や大雨などによる、道路の陥没や倒木等の交通障害

地域の課題

- ・区および住民個人の災害に対する備え（備蓄品やライフライン途絶への対策）が不十分である。
- ・災害時における要配慮者への対策は不十分である。
- ・防災訓練の参加者が少ない。訓練のやり方が分からない。
- ・地域で避難所の運営ができるか。

今後の取組み

- ・家庭での備蓄や災害対策を進め、自助の強化と意識の向上をめざします。
- ・地域内のコミュニケーションを図り、助け合いが出来る地域をめざします。
- ・災害時要配慮者対策として、名簿作成や支援内容の把握など、支援に向けた取り組みを進めます。
- ・毎年訓練等を実施し、防災意識の向上をめざします。





新堂区防災計画



2025（令和7）年12月1日
新堂区

目標

自覚と責任を持って防災に取り組む



想定される災害

- 台風や大雨による洪水・土砂災害
- 地震（南海トラフ地震：震度6弱・頓宮断層地震：震度6強）
- 地震や大雨などによる、停電・断水等のライフライン途絶
- 地震や大雨などによる、道路の陥没や橋梁被害等の交通障害

地域の課題

- 区民の防災意識が低い。
- 自主防災組織の形骸化。
- 避難所の運営ができるか。
- 災害時における要配慮者への対策が不十分である。
- 防災資機材（発電機等）の点検ができていない。

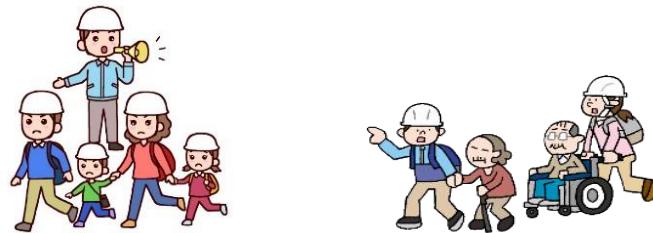
今後の取組み

- 毎年訓練等を実施し、防災意識の向上をめざします。
- 防災についての啓発活動を行い、地域住民みんなが防災について考える機会をつくります。
- 災害時要配慮者を支援する取り組みを進めます。
- 地区で備蓄品を確保していきます。
- 各家庭で備蓄や災害時のルール（家族の連絡方法・集合場所など）を考え、防災意識の向上を目指します。





御代区防災計画

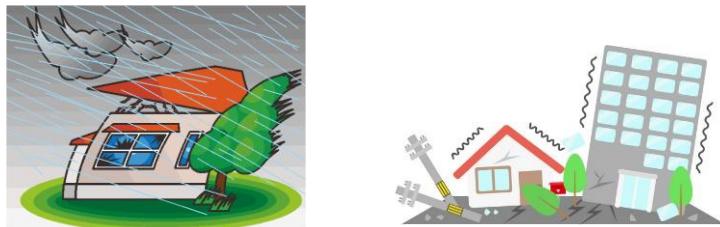


2025（令和7）年12月1日
御代区

目標

災害に強い地域づくり

～個人・家族から災害時に適切な判断と行動が行なえる意識付けと避難訓練の実施～



想定される災害

- 台風や大雨による洪水
- 地震（南海トラフ地震：震度6弱・頓宮断層地震：震度6強）
- 地震や大雨などによる、停電・断水等のライフライン途絶
- 地震や大雨などによる、橋の崩落や道路の陥没等の交通障害

地域の課題

- 避難場所や避難行動計画（方法、タイミング）が確立・共有されていない。
- 住民全員による訓練が実施できていない。
- 避難所運営（避難所での生活）
- 災害時における要配慮者への対策は不十分である。
- 住民個人の災害に対する備えが不十分である。

今後の取組み

- 毎年訓練等を実施し、防災意識の向上をめざします。
- 区民全員が安全に避難できるように取り組みます。（地域のタイムラインの設定）
- 避難所がスムーズに運営できるよう、検討を進めます。
- 災害時要配慮者を支援（避難方法の検討など）の取り組みを進めます。
- 区として備蓄品を確保します。
- 各家庭で備蓄や災害時のルール（避難場所・タイムライン）を考え、防災意識の向上を目指します。





柏野区防災計画



2025（令和7）年12月1日
柏野区

目標

自分の身は自分で守る。次に共助



想定される災害

- 台風や大雨による洪水・ため池の決壊
- 地震（南海トラフ地震：震度6弱・頓宮断層地震：震度6強）
- 地震や大雨などによる土砂災害
- 地震や大雨などによる、停電や断水等のライフライン途絶

地域の課題

- 災害時における要配慮者への対策は不十分である。
- 安否確認や情報伝達ができるか。
- 避難行動のルールが決まっていない。
- 避難所の開設や運営ができるか。
- 地区および個人の災害に対する備えが不十分である。

今後の取組み

- 毎年訓練等を実施し、防災意識の向上をめざします。
- 安否確認の方法を徹底し、安否確認・情報伝達ができるように取り組みます。
- 各家庭で備蓄や災害のルール（家族の連絡方法・集合場所など）を考え、防災意識の向上を目指します。
- 災害時の組単位での状況把握と安全に避難行動ができるように取り組みます。
- 危険個所の確認と共有化を進めます。

